

2023年11月7日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

LGBTQ への取組評価「PRIDE 指標」における最高評価「ゴールド」受賞について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、2023年11月7日、任意団体 work with Pride による LGBTQ（性的マイノリティ）に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞¹しました。



「PRIDE 指標」は、2016年に策定された日本初のLGBTQ施策の評価指標で、各企業・団体などの、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するものです。

MUFGでは、性的指向・性自認などにかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる職場の実現をめざし、2016年度以降、差別禁止方針の明示や社員向け研修の継続実施、「同性パートナーシップ認定制度」の導入などに取り組んでまいりました。2023年度は、東京レインボープライドへのオンライン出展、LGBTQについての理解促進やインクルーシブな職場風土醸成を目的とした社内イントラネットにおける記事の掲載、また、6月のPRIDE月間²においては、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友フィナンシャルグループとともに「PRIDEプロジェクトNEXT～映画鑑賞イベント」を開催しました。従業員とそのご家族・ご友人を対象にした本イベントでは、LGBTQに関する理解を深めながら、教育・就労・福祉などのLGBTQに関する社会課題に対し、一人ひとりが支援したいと思う分野に賛同表明することで、会社を通して支援ができる取り組みを行いました。このような取り組みが評価され、最高評価「ゴールド」の受賞に至りました。

MUFGは、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて、「ダイバーシティ・エイクイティ&インクルージョン」をサステナビリティ経営における10の優先課題の1つとして定めています。今後も多様な社員が活躍できる職場環境づくりに向け、さまざまな取り組みを行ってまいります。

[1]「ゴールド」の受賞は、MUFG およびグループ7社（株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJニコス株式会社、MUSビジネスサービス株式会社、MUS情報システム株式会社、三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社）における取り組みに対し、評価を得ました。

[2]Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人）、Queer や Questioning（クイアやクエスチョニング）などの性的マイノリティ（性的少数者）の当事者およびコミュニティの権利、平等、認知拡大のための啓発活動の取り組みを実施する期間で、当社においてもこのPRIDE月間を祝う取り組みを実施しました。

以 上